

カンボジア王国

国家・国王・宗教

ロールチュルッ小学校着工式報告書

ロールチュルッ小学校着工式を迎え、寄贈者に心から感謝いたします。

着工式は 2012 年 3 月 29 日、9:00~11:00、コンボンチャム州プレイチャー郡バライ地区ロールチュルッ村にある当小学校新校舎建設地において、プレイチャー郡郡長、スレイ・サブン氏を主賓に行われました。

来賓 8 人、僧侶 2 人、生徒 85 人、教師 5 人、村人 130 人が参加し着工を祝いました。

I. 式次第

1. 着工式プログラムの紹介
2. 主な来賓の紹介
3. カンボジア・日本両国国歌斉唱
4. エン・ウン氏祝辞：バライ地区地区長
5. 浦田富貴美祝辞：ASAC 調整員
6. スレイ・サブン氏祝辞：プレイチャー郡郡長
7. ASAC と学校建設委員会による合意書への署名
8. 着工の儀式

II. 主な来賓

1. スレイ・サブン氏：プレイチャー郡郡長
2. オウ・ホン氏：プレイチャー郡教育課課長
3. 浦田富貴美：ASAC 調整員
4. ネイ・ソナ氏：ASAC エンジニア
5. エン・ウン氏：バライ地区地区長
6. チョム・ソップアップ氏：ロールチュルッ村村長
7. ソム・ワニー女史：ロールチュルッ小学校教師
8. プン・タン氏：コーク・スロラオ地区地区長
9. セム・レン氏：ダムナック・チェン村村長

III. エン・ウン氏祝辞：バライ地区地区長

来賓の方々に敬意を表します。ASAC が 3 教室の校舎及びトイレ 2 室を支援してくれることになり、住民は嬉しく、心から感謝しております。地区は道路建設用資金や住民の生活支援のための予算を準備し地区の発展を志しております。

最後に、地区住民を代表し寄贈者に深く感謝し、皆様に仏の 5 つのご加護を祈念いたします；長寿、崇高、健康、力、知力

IV. 浦田富貴美祝辞：ASAC 調整員

皆様、本日はロールチュルッ小学校着工式に出席していただきましてありがとうございます。この学校に新しい校舎が作られることになりました。7 月上旬、3 教室の新校舎、トイレ、国旗掲揚塔、ポンプ井戸が完成します。3 教室には机、椅子、黒板、掲示板等が設置されます。

ASAC についてお話します。ASAC は岡村眞理子氏によって 1994 年設立しました。彼女は国連ボランティアとして 1993 年カンポット州で働き、その後、全ての子供たちに等しく教育の機会を与えたいと願い

ASAC を設立しました。残念なことに彼女は 6 年前他界し、その後、夫の岡村氏が理事長に就任しましたが、彼も 3 年前他界しました。しかし ASAC は創設者の意思を継承し現在も活動を続けています。ASAC はカンボジアでこれまで 128 の小中学校、校舎数では 173、教室数では 838 を建設しました。この学校は ASAC による 129 番目の学校です。

ASAC はロールチュルッ小学校が校舎不足の状況にあることを 2010 年に知り、支援者を探していました。そして日本の NGO である「しょうがっこうをおくる会」が校舎を支援してくれることになりました。この会は校舎不足で困っている世界中の学校に校舎を寄贈しています。会は全ての子供たちが学校に通い、学び、将来自分たちの夢を叶えて欲しいと願っています。そしてこの願いの元、不要になった書籍を人々に提供していただき、再販することで資金を募り、世界中に学校を建てています。

ロールチュルッ小学校はこのようにして建てられることになりました。会はこれまで、ネパール、ケニア、フィリピン、エクアドルで校舎を寄贈し、2010 年、コンポンチャム州パティエイ郡にあるトゥールチャン小学校にも校舎を寄贈しました。今年、その学校に遊具の寄贈も行いました。この校舎はしょうがっこうをおくる会による 2 番目の支援校舎です。

村民、父母の皆さん、どうぞ建設作業に協力してください。この校舎は ASAC でなく、皆さんの物です。作業員が困っているのを見たら、親切に援助してあげてください。生徒の皆さん、この小学校を卒業するまで、しっかりと学習を続けて下さい。学ぶことは人生の光であり、知識は将来家族や国を助ける力となります。

最後にプレイチャー郡郡長、スレイ・サブン氏にお礼申し上げます。本日はおいでいただきましてありがとうございます。ASAC は 7 月に皆様にもう一度お会いできることを楽しみにしています。

V. スレイ・サブン氏祝辞：プレイチャー郡郡長

はじめに、式に出席の皆に敬意を表します。3 教室の校舎、トイレ 2 室の建設が決まり、村民はその幸運をととても嬉しく思っています。

プレイチャー郡に校舎を寄贈していただき、郡を代表して寄贈者と ASAC に深く感謝いたします。この村は僻地にあり、子供たちが学ぶための十分な校舎がありません。今、国は政府の方針を実施することで毎年発展してきました。ASAC は非識字者の支援に力を入れ、コンクリート製の質の良い校舎で子供たちが学ぶ機会を提供してくれています。この地域は中心部からとても離れています。生徒の皆さんは毎日学校に通ってしっかりと勉強し、国を発展させるために必要な知識を習得しなければなりません。今、国は平和になり、様々なことが変わりました。皆さんの村の近くにもたくさんの小学校、中学校、高等学校が出来ています。

この学校は村民皆さんの物です。完成したら、校舎、備品を良い状態に保つように皆で協力して管理して下さい。

最後に皆様の健康と繁栄をお祈りし、仏の 5 つのご加護を祈念いたします：長寿、崇高、健康、力、知力

2012 年 4 月 27 日
ASAC プノンペン事務所
学校建設事業アシスタント
報告者：ル・ナレ

VI. 着工式写真



カンボジア・日本両国国歌斉唱



エン・ウン氏祝辞：バライ地区地区長



浦田富貴美祝辞：ASAC調整員



スレイ・サブン氏祝辞：プレイチャー郡郡長



ASAC と学校建設委員会との合意書への署名



地鎮の儀式



着工式の後の生徒と村民